

[都市計画の概要]

宇都宮都市計画火葬場の変更「1-2号宇都宮市新斎場」の追加について

1. 都市計画の種類・名称等

種類：宇都宮都市計画火葬場の変更

名称：1 - 2号 宇都宮市新斎場

位置：宇都宮市上欠町の一部

面積：約 96,500 m²

2. 都市計画変更の理由

本市は、平成13年3月「宇都宮市斎場再整備基本計画」を策定し、現斎場の現状から斎場の移転新築による整備方針を決定した。

この方針に基づき、平成１３年６月から複数の候補地を選定し比較検討を行い、平成１４年６月に上欠町を最有力候補地として選定した。

環境影響評価調査の総合評価等を踏まえ、平成１６年１０月に上欠町富士山台を新斎場の建設地として決定し、都市施設として整備するため、都市計画火葬場に追加しようとするものである。

(1) 現齋場の課題

- ・ 今後、火葬需要の大幅な増加が予想されているが、現施設的能力では対応が困難である。
- ・ 建築から26年が経過するなか、火葬炉については長期稼動による経年劣化が著しい。
- ・ 駐車場の絶対数不足、さらには会葬者が移動する際の錯綜・混雑の発生など、会葬者が利用しづらく、厳粛性を保つことのできない構造となっている。

(2) 移転新築の理由

- ・ 周辺一体が戸祭山緑地として緑地保全計画があるなど、敷地の拡張が困難である。
- ・ 火葬業務を行いながら、改築することは困難である。

(3) 候補地の選定条件

【齋場に求められている姿】

- ・ 緑と静けさにつつまれた斎場 = 「安らぎ」の提供
- ・ ゆったりした空間を有した斎場 = 「ゆとり」の提供
- ・ 安心して利用できる十分な機能を有した斎場 = 「安心感」の提供
- ・ 最後の別れにふさわしい雰囲気・景観を有した斎場 = 「荘厳さ」の提供

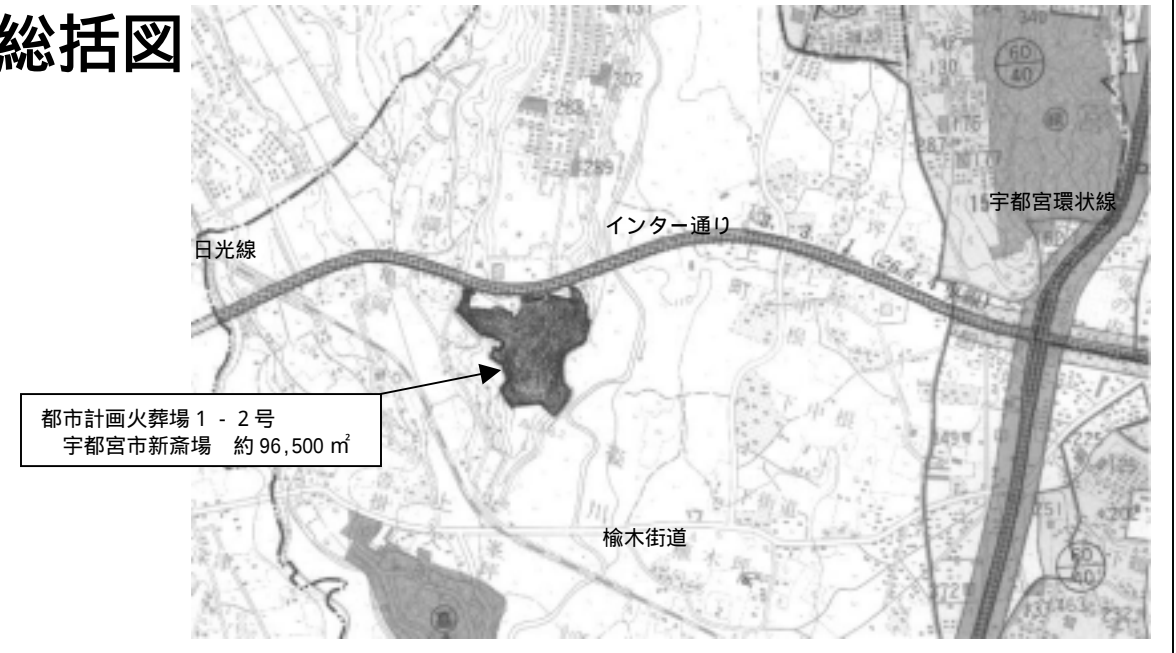
【新斎場建設候補地の選定条件】

- ・ 斎場に求められている姿が規模や形態，周辺の景観等から実現可能であること。
- ・ 斎場への交通利便性が距離，時間，経路等の面で高いこと。
- ・ 新斎場としての土地利用がインフラ，諸条件等の面で可能であること。

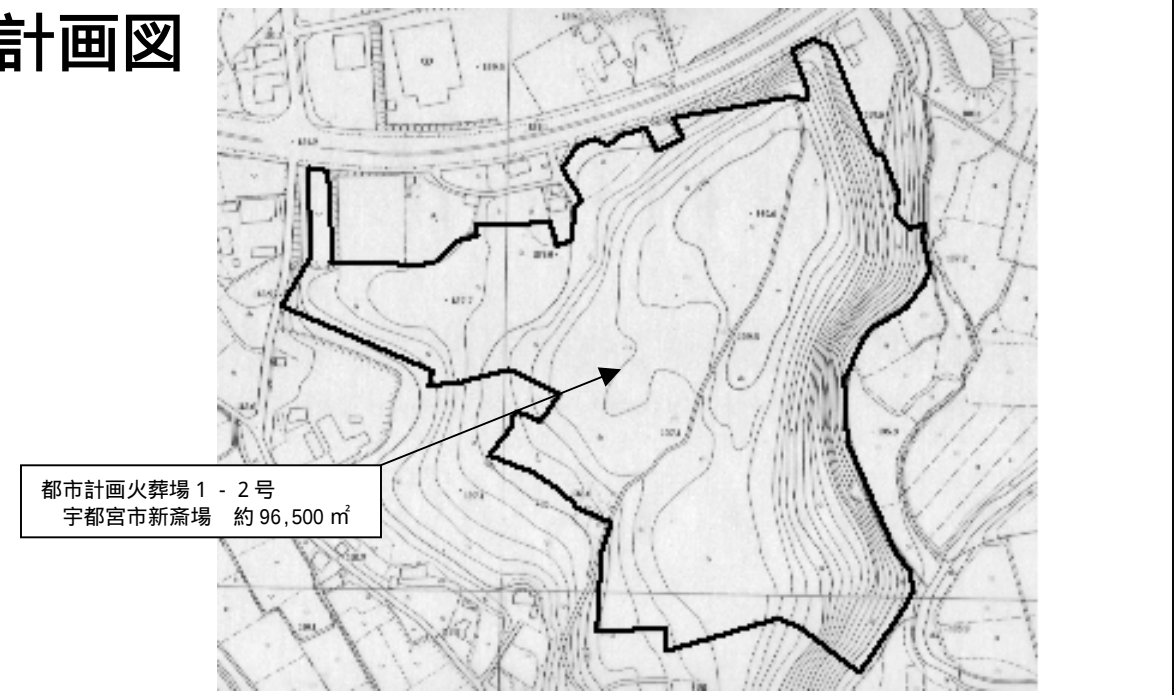
(4) 上欠町を最有力候補地とした理由

- ・ 自然の樹木に囲まれた広い平坦部があるため、樹木を残したまま整備することが可能である。
- ・ 宇都宮環状線から近距離にあり、市内全域からの交通利便性が高い。
- ・ 土地利用に規制がなく、造成が容易である。
- ・ 地形などから建設による周辺に及ぼす影響が少なく、周辺環境との調和が図りやすい。

総括図



計画図



3. 施設概要【参考】

【主な設備】火葬炉16基，待合室16室，式場2室（各150人収容）

【最大火葬能力】約48件/日(3件/日×16基)

【駐車場】普通車216台以上，大型車16台

【工事計画】18年度後半 造成工事

19年度前半 建築工事

【稼動開始】平成20年度内